不登校を乗り越えるための
親御さん向け勉強会

～子どもの持ち味と親の接し方 ～

お子様の困難でお悩みの方は、
お一人で抱え込まずにぜひご参加ください

2021年5月18日（火）

時間： 10:30～12:00　　**参加費：** 3,000円

場所： 淀屋橋心理療法センター
〒561－0872 大阪府豊中市寺内2-13-49 TGCマンション8-302

講師： 精神科医師 福田俊一・臨床心理士 福田俊介

メール又は下記QRコードからお申込みください。 定員になり次第受付を締め切らせていただきます。

「不登校」という困難を抱え、親として育て方が悪かったのではないか、
とご自身を責めてしまう親御さんも少なくありません。
しかし決してそのようなことはなく、不登校は様々な要因（友達付き合い、学業不振、いじめなど）が
複雑に絡み合うことでもたらされてしまうものなのです。
親としての接し方を工夫することで、お子さんが困難を乗り切れるようパワーアップしてあげれば、
物事はどんどん良い方向へ向かっていくことが期待できます。
本セミナーを通して不登校について正しい知識を得て、
解決のために前向きに取り組むきっかけとしていただければ幸いです。

お問い合わせは: 淀屋橋心理療法センター since.1983
tel：06-6866-1510
月～金曜日の10時～16時
ypc@mvh.biglobe.ne.jp
https://www.yodoyabashift.com

お申込みは
こちらからも
可能です！

プログラム

1. はじめに　不登校…「見守りましょう」の落とし穴

講師：淀屋橋心理療法センター所長/精神科医師 福田俊一

毎年、GW明けは当センターへの不登校のご相談が急増する時期です。
新学期が始まり新しい環境に馴染めず学校に行けない状態を「見守っている」と、根本的な解決にならず
お子さま本人の成長が見込めません。不登校は、「休み始めたらすぐ動く」が鉄則です。

2. ケース紹介　家族の接し方によって不登校が解決したケースをご紹介

講師：淀屋橋心理療法センター /臨床心理士 福田俊介

ケース1：元気な子が新学期になり体調を崩した。見守っていたら、そのまま不登校に。（中3 女の子）
ケース2：留年の危機。親の言うことを聞かない頑固な子。（高1 男の子）

3. 今日からできること

講師：淀屋橋心理療法センター所長 /精神科医師 福田俊一

お子さんにはそれぞれ“持ち味”があります。
不登校の原因ばかりを考えるのではなく、“持ち味”を活かしたご本人のこれからの成長を考えるべきです。
昨日より今日、今日より明日、元気になっていくための工夫をお伝えします。

講師紹介

精神科医師 福田俊一

淀屋橋心理療法センター所長で精神科医師。日本の実践的家族療法の草分け的存在。初めて家族療法専門機関を日本で設立し、実践、技法の開発、家族療法家の育成に貢献した。その後は、不登校、ひきこもり、摂食障害、うつ、家庭内暴力（子から親へ）、リストカット等の家族療法の開発に尽力している。著書多数。

臨床心理士 福田俊介

臨床心理士・公認心理師（国家資格）。オレゴン大学卒業後、自動車関連会社に勤務。その後、兵庫教育大学大学院 学校教育研究科を卒業。2013年より淀屋橋心理療法センターに勤務している。現在、主に不登校・ひきこもり・ゲーム依存を担当し、お子さんそれぞれの性格に合った具体的な対応を親御さんにアドバイスしている。

淀屋橋心理療法センターのご紹介

淀屋橋心理療法センターは、1983年（昭和58年）にわが国初の家族療法カウンセリング専門機関として、所長・福田俊一（精神科医師）が設立しました。ご本人だけでなくご家族にもアドバイスを出すことでご家族も対応のコツがわかり、いち早く問題解決へと導くことが可能になります。

お問い合わせは:

家族療法による不登校・摂食障害・うつのカウンセリング

淀屋橋心理療法センター

since.1983

tel：06-6866-1510

月～金曜日の10時～16時

ypc@mvh.biglobe.ne.jp

https://www.yodoyabashift.com

お申込みは
こちらからも
可能です！